


さんま通信

厚生中央病院だより 第74号 

厚生中央病院の理念

1. 私たちは、心の通った温もりを感じる医療を目指します。
2. 私たちは、組合被保険者ならびに地域の人々の健康と福祉に貢献します。
3. 私たちは、病院機能の充実を図り、サービス向上のため日々研鑽します。



目次

- 高気圧酸素治療を始めました！…… 1~2
- 尿管結石について …………… 2~3
- 糖尿病教育入院について …………… 4
- 糖尿病食への取組み …………… 4

高気圧酸素治療を始めました！

耳鼻咽喉科医長 永井 賀子

高気圧酸素治療（HBO：Hyperbaric Oxygen Therapy）については、2023年10月から運用を開始しております。高気圧酸素治療とは、大気圧よりも高い気圧環境で高濃度の酸素を吸入させることによって病態の改善を図る治療です。気圧を高めた治療装置内では、通常大気圧の約10～15倍もの酸素を体内に取り込むことが可能です。当院では高気圧酸素治療の代表的疾患である突発性難聴を今までは他院へ紹介しておりましたが、当院で治療することができるようになりました。目黒区管内では高気圧酸素機器を有する病院は大学病院を含めて無く、機器の導入が地域の患者様へのメリットになると判断し導入に至りました。

治療効果として、

1. 血流障害による組織の低酸素状態を改善する
2. 創傷治癒を促進する
3. 滅菌作用がある
4. 身体内のガスの容積を小さくする
5. 減圧症での体内窒素ガスの排泄を促進する効果がある

があります。対象となる疾患は急性一酸化炭素中毒や重症感染症などの救急疾患などがあります

が、当院で受け入れ可能な適応疾患は、突発性難聴、脳梗塞、腸閉塞、放射線または抗がん剤治療と併用の悪性腫瘍、放射線障害、スポーツ外傷があり、そのほか自費診療として保険適応外疾患にも対応いたします。耳鼻科で扱う代表疾患は突発性難聴ですが、聴力が改善する可能性は高気圧酸素療法により22%上昇し、平均15.6dB改善すると報告されております。（Bennet MH, et al: Hyperbaric oxygen therapy for idiopathic sudden sensorineural hearing loss and tinnitus. Cochrane Database Syst Rev.2012 17; 10: CD004739）

国産唯一の純酸素加圧式第1種治療装置（1名の患者を収容する装置）である川崎エンジニアリング株式会社製の機械を使用しております。

写真のような酸素カプセルに入り治療をしますが、閉所恐怖症の方は施行できません。また、新幹線乗車時にトンネルに入ったときや航空機の急上昇や急降下時やダイビングした時に、耳の痛みが起こる方は耳管狭窄症の可能性があり治療できない場合があります。必要に応じて鼓膜切開を行うこともあります。

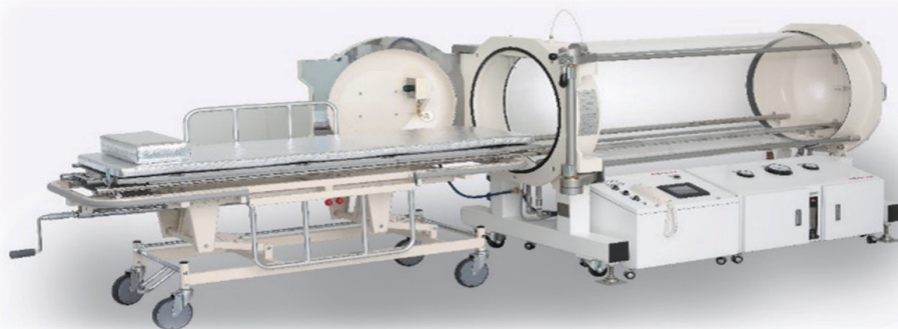
治療中、圧力の変化により中耳の空気が変化し耳の閉塞感や耳痛を伴うことがあります耳抜きを行う必要があります。また、治療の副作用として、気圧が高いことによる外傷（内耳や中耳、鼻腔、肺の損傷）があります。ほかには酸素過多による酸素中毒（視野異常、耳鳴り、吐き気、部分的な筋肉の攣縮、気分の変調、めまい、けいれん発作）があります。

適応疾患の多い高気圧酸素治療を各疾患の治療や補助的治療の一つの選択肢として各科の医師の協力を得て指示の下、操作は臨床工学技士が行い、看護師を含めたチームで治療を行います。1回の所要時間は1時間半から2時間ほどで、中耳炎な

どの副作用については耳鼻科医が対応いたします。

突発性難聴の高気圧酸素治療に対しては現在のところ安全性を考慮し月曜日から金曜日までの間で入院加療を基本といたします。1クールを5回とし全国平均では10回の治療実績があります。副作用も少なく、事前チェックを行うことで安全に行える治療となっておりますが、安全性が確保できない患者様については保険適応疾患であっても治療が行えない場合があります。安全に行うために治療前のしっかりとした問診、身体チェックが重要となっておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

高気圧酸素治療装置



尿管結石について

泌尿器科医長 黄 和吉

尿管結石の発症頻度

日本人が生涯のうち尿管結石に罹患する確率は約10%であり、10人に1人は結石にかかる計算になります。最近では食生活の欧米化などにより、動物性タンパク質の摂取量が増加しており、発生頻度は昭和20年代に比べると約4倍増加し、今後も増加していくものと予想されます。結石の再発率は5年間で50%と言われております。

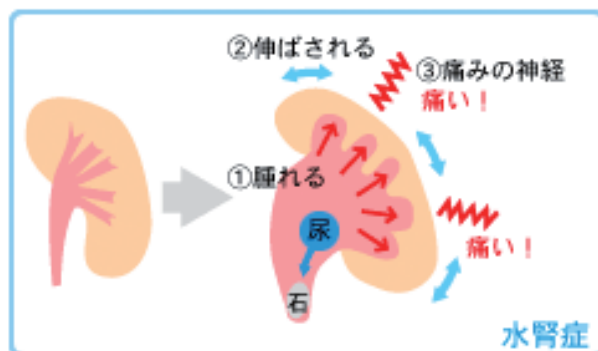


尿管結石の痛み

突然の腰背部の激痛に襲われ、七転八倒の苦しみで、起き上がれないほど痛いことがあります。3大激痛（くも膜下出血・出産・尿管結石）の1つとも言われています。

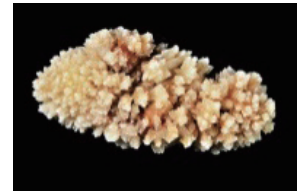
痛みは、結石が腎盂や尿路から尿の流れが阻止され、腎盂内圧の急激な上昇により、引き起こされます。痛み以外の症状として、血尿、吐き気などもあり、感染を合併すると発熱することもあります。

放置すると腎臓から尿が流れなくなり、腎不全の原因になることもあります。



尿管結石の成分・原因

- 尿管結石の主な成分：約80%がシュウ酸カルシウム結石です。尿にシュウ酸が多いと、尿中のカルシウムと結合して、結石ができます。
- 結石ができやすい人：動物性タンパク質の摂取量が多い、野菜やカルシウムの摂取量が少ない（体が酸性に傾き、シュウ酸が作られやすくなる）、夕食中心の食生活、食事から就寝までの時間が短い、水分摂取不足、運動不足、肥満など。
- 結石ができやすい食べ物：肉類（魚以外）、ほうれん草、小松菜、たけのこ、チョコレート、ナッツ類、紅茶、コーヒー、レバー、干物、ビールなどです。



尿管結石の予防

- まずは飲水を心がけましょう。理想的には1日1500～2000cc以上です。
- 結石になりにくい食べ物：野菜類を多くした和食中心のメニューを取り入れましょう。カルシウムを十分に摂りましょう。（カルシウムは腸内でシュウ酸と結びつき、それらを便として排泄しやすくします）
- 生活リズムの改善：結石は夜に作られます。夕食から就寝までの間隔をなるべくあけましょう（夕食後から寝るまで4時間以上が理想）。生活習慣病（高血圧・糖尿病など）の治療・対策がそのまま結石予防にも当てはまります。

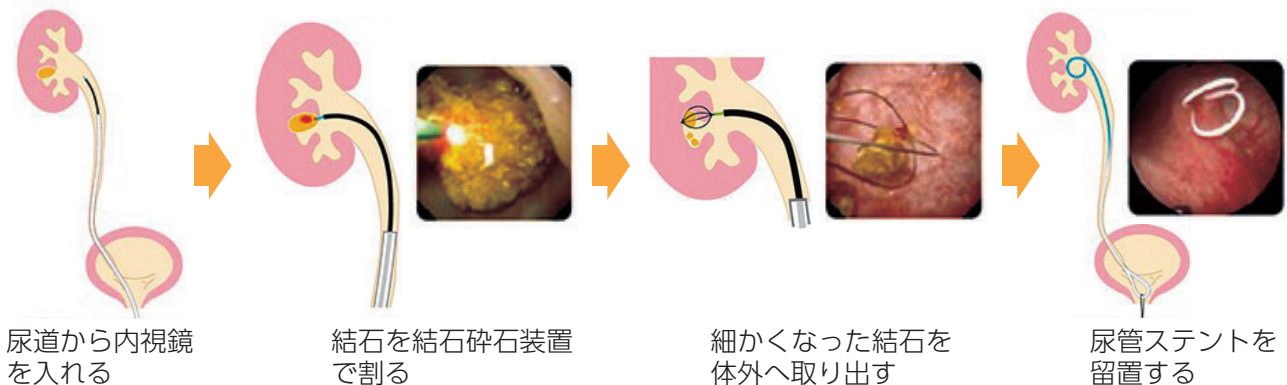
尿管結石の治療

- 自然排石：大きさが5mm以下の結石は自然に排石できる可能性があります。水分を積極的にとりましょう。
- 薬物療法：尿管結石の80%を占めるシュウ酸カルシウム結石は、薬で結石を溶かすことは不可能です。結石排出促進薬のウロカルンという薬があり、外来で処方することがあります。前立腺肥大症の治療薬である α 1ブロッカーも排出促進作用があると言われています。
- 手術療法：自然排石困難の場合（大きさ5～10mm以上の結石）、経過を見ても結石の位置が変わらない場合、水腎症を合併している場合は、積極的に手術治療をすすめます。

内視鏡下結石破碎術(TUL)：尿管鏡を尿道から挿入し、結石をレーザーで破碎します。破碎効果は高く、尿道からの通り道で破碎するため、体の表面には傷は付きません。最新鋭の細径のファイバーを用いて結石破碎を行うため、組織障害を極力減らすことが可能です。術後翌日から歩行・食事が可能であり、翌々日の朝には退院できます。（最短2泊3日入院）

※体外衝撃波結石破碎術（ESWL）は機器の老朽化により2023年9月から当院では行っておりません。（希望のかたは関連施設へご紹介しております）

経尿道的結石碎石術（TUL）の手順（内視鏡下）



結石が疑われる症状がある場合、あるいは結石の予防や治療について悩みなどがあれば、いつでも当院泌尿器科に相談してください。

糖尿病教育入院について



総合内科医師
川島 秀明

今年度より赴任致しました川島 秀明と申します。糖尿病代謝内分泌分野を専門としております。昨年度まで糖尿病を専門とする医師が常勤医におらず、行われていなかった糖尿病教育入院を今年度より再開しております。糖尿病教育入院は治療に難渋している患者様だけではなく、糖尿病の初期から誰もが利用して頂ける入院です。2週間程度の入院がメインですが、入院期間は患者様のニーズに合わせて調整が可能です。当院では糖尿病専門医、糖尿病認定看護師、日本糖尿病療養指導士を中心とした専門のチームで包括的に患者様に糖尿病教育、治療を行なっていきます。入院中には『糖尿病』、『合併症』、『食事療法』、『運動療法』、『治療薬』、『シックデイの対応』などスタッフと一緒に学んでいきます。糖尿病教育入院をご希望される患者様、治療に難渋されている患者様がおりましたらお気軽にご紹介頂ければ幸いです。また、甲状腺疾患、副腎疾患、下垂体疾患、性腺疾患なども専門にしておりますので、疑われる患者様がおりましたらご紹介頂ければ幸いです。
(川島 外来日：水曜日 午前・午後、岡畑 外来日：金曜日 午前、鈴木 外来日：金曜日 午後)

糖尿病食への取り組み

栄養科長 石川 剛

糖尿病食は患者様に合ったカロリー調整を行い、五大栄養素のバランスを考慮した食事になります。また食物繊維を多く使用し、食後の血糖上昇を抑制するため、インスリンの分泌を節約する特徴があります。

平均在院日数は12.5日のため3週間サイクルメニューを導入し、四季折々の食材を使用しています。また年間30回の行事食を提供し、味と見た目です満足できるよう工夫しております。

当院では妊娠糖尿病の教育入院を行っており、食事内容の特徴として妊娠中に必要な葉酸、鉄、カルシウムの付加した内容になっています。食事療法の一環として、主食はライ麦パンや雑穀米など食物繊維が多い食材を使用し、副菜は不足しがちなビタミン、ミネラルを多く含んでおります。主菜はからだづくりに必要な良質なたんぱく質を考慮した、バランスのよい食事内容になっています。

食事写真（左：雑穀米・煮付、右：全粒粉入りパン）



厚生中央病院 **さんま通信** No.74 2023

発行元：総合病院 厚生中央病院 経営企画広報室

〒153-8581 東京都目黒区三田1-11-7
TEL：03-3713-2141 FAX：03-3713-4963
URL <https://www.kohseichuo.jp>

看護師等、随時募集しております。詳しくは当院ホームページをご覧ください。